

問1 日本からアルゼンチンのブエノスアイレスへ一月に旅行に行く際、現地の気候を考慮した準備として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 石川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 南半球に位置し日本とは季節が逆転するため、現地の夏に合わせた半袖などの軽装を準備する。 | 2. 南半球では一月が最も寒くなる時期であるため、日本の冬と同様に厚手のコートなどの防寒着を準備する。 | 3. 高緯度の冷帯（亜寒帯）に位置するため、一月でも氷点下になることを想定して本格的な冬装備を準備する。 | 4. 赤道に近い熱帯の都市であるため、季節の変化は考えず、激しい雨に備えた雨具を中心に準備する。 |
|--|---|--|--|

問2 北極圏などの高緯度地域における自然環境と人々の生活の特色について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 一年を通じて温暖であり、午後に激しい雨を伴うスコールが発生するため、移動には小型のボートが多用される。 | 2. 日照時間の変化がほとんどないため、伝統的な犬ぞりが現在でも唯一の移動手段として厳格に守られている。 | 3. 夏季には太陽が沈まない白夜が見られるなど、低緯度地域に比べて季節による日照時間の変化が極めて大きい。 | 4. 季節風（モンスーン）の影響を強く受けるため、夏は高温多湿になり、冬の移動には主にラクダが利用される。 |
|--|--|---|---|

問3 高緯度に位置するシベリア地方で見られる、夏でも溶けることなく、二年以上連続して凍結した状態にある土壌を何といいますか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| 1. ツンドラ | 2. 永久凍土 | 3. 泥炭 | 4. ボドゾル |
|---------|---------|-------|---------|

問4 北緯40度以北のヨーロッパ西海岸付近では、北海道よりも高い緯度に位置しながら、冬の気温が北海道よりも高くなる地点が多くあります。このような気候が形成される背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 寒流の影響により大気が安定し、夏に強い日差しが降り注ぐ一方で冬は海からの熱が放出されるため。 | 2. 赤道付近で発生した上昇気流が、中緯度高圧帯としてこの地域を年間を通じて覆うため。 | 3. 大陸内部から吹き出す乾燥した季節風が、山脈を越える際にフェーン現象を引き起こし気温を上げるため。 | 4. 低緯度から流れる暖流である北大西洋海流の上を、偏西風が通って温かい空気を運んでくるため。 |
|---|---|---|---|

問5 インドネシアなどの赤道に近い低緯度地域に位置する島嶼部では、伝統的に「高床式住居」と呼ばれる家屋が見られます。この住居が、床を高く作っている主な理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 乾燥した気候において、日干し寝の厚い壁で外の熱気を遮断するため | 2. 羊毛のフェルトを壁に用いることで、移動がしやすい構造にするため。 | 3. 風通しを良くすることで、現地の厳しい湿気や暑さを和らげるため。 | 4. 針葉樹の丸太を積み重ねることで、冬の厳しい寒さから身を守るため。 |
|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|

問6 ある都市の気象データにおいて、最も気温が高い月でも約18度と涼しく、最も低い月でも約5度と比較的温暖であり、さらに毎月の降水量が50mmから80mm程度でほぼ一定している場合、この気候区分として適切な名称はどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 1. ツンドラ気候 | 2. 温暖湿潤気候 | 3. 西岸海洋性気候 | 4. 地中海性気候 |
|-----------|-----------|------------|-----------|

問7 2019年の世界生産統計でアメリカ合衆国、中国、ブラジルが上位3か国となっており、近年では家畜の飼料やバイオ燃料の原料としての需要も急速に高まっている農産物はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-----------|------|---------|
| 1. 綿花 | 2. とうもろこし | 3. 茶 | 4. オリーブ |
|-------|-----------|------|---------|

問8 一九七〇年と二〇二〇年の世界の平均寿命を比較した統計によると、サハラ以南のアフリカは、一九七〇年時点の四十五歳から、二〇二〇年には六十二歳へと大きく改善しました。この事実と、他の地域との比較に基づいた説明として正しいものはどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. サハラ以南のアフリカの数値が改善したのは、一九七〇年時点でこの地域の平均寿命が世界で最も高かったためである。 | 2. サハラ以南のアフリカのみが特例的に寿命を延ばしており、世界全体としては平均寿命に大きな変化は見られない。 | 3. サハラ以南のアフリカは数値が大幅に改善したが、世界全体の中で比較すると、依然として最も平均寿命が低い地域である。 | 4. サハラ以南のアフリカは大幅な改善を見せた結果、二〇二〇年時点では南アジアやラテンアメリカの平均寿命を追い抜いている。 |
|---|---|---|---|

問9 赤道に近いインドネシアのジャカルタの統計において、一月から十二月までのすべての月で平均気温が二十七度から二十九度の範囲にあり、年間を通じて極めて気温の変化が少ないというデータがあります。このような気候の特徴を背景に行われる稲作の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 冷涼な気候を活かして、他の地域よりも出荷時期を遅らせる抑制栽培が行われる。 | 2. 一年の半分が寒冷なため、育苗期間を短縮して夏の間だけ栽培する単作が行われる。 | 3. 季節風の影響で生じる雨季と乾季を使い分け、稲と小麦を交互に育てる二毛作が行われる。 | 4. 常に高温である気候条件を活かし、同じ耕地で年に二回収穫を行う二期作が行われる。 |
|--|---|--|--|

問10 世界的な二酸化炭素排出量の変化と、それに伴う環境問題について述べた次の文のうち、正しいものを選びなさい。 (2018年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|-------------------------------------|---|---|
| 1. 二酸化炭素の排出量は、1990年と比較して現在のアフリカ諸国が世界で最も多い割合を占めている | 2. 世界全体の二酸化炭素排出量は、20世紀末から減少傾向に転じている | 3. アメリカ合衆国などの先進国を含め、すべての国で1人あたりの二酸化炭素排出量が増加し続けている | 4. 21世紀以降、中国やインドなどの新興国では、経済成長に伴い二酸化炭素排出量が急増している |
|---|-------------------------------------|---|---|

問11 熱帯地方で行われている焼畑農業において、数年間イモ類などの作物を栽培した後に、別の場所へ移動して同様の作業を繰り返す理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 季節ごとの降水量の変化が激しく、雨季と乾季に合わせて灌漑施設がある場所へ移動する必要があるため。 | 2. 燃やした草木の灰に含まれる肥料分が消費され、土地が痩せて収穫量が減少するため。 | 3. 家畜の飼料となる牧草を確保するために、元の森林を永久的な放牧地へと転換し続ける必要があるため。 | 4. バナナやカカオなどの輸出用商品作物を大規模に栽培するために、より広大な土地が必要となるため。 |
|---|--|--|---|

問12 乾燥した草原が広がる中央アジアの地域において、人々が家畜とともに広範囲を移動しながら生活を送っている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 特定の領土を持たないことで、周辺諸国との紛争に巻き込まれるリスクを回避するため | 2. 家畜を特定の場所に固定すると、周辺の土壌に含まれる塩分が家畜の健康を害するから | 3. 年間を通じて降水量が少なく、同じ場所では家畜が食べる牧草を確保し続けることが困難だから | 4. 標高の高い山地とふもとの平地の間を、季節による気温の変化に合わせて往復するため |
|--|--|--|--|